

うっしっしいー情報2020

12月市



豊岡農業改良普及センター

12月9日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が83万、雌が93万5千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	8	0.938	749,238	2	0.846	683,650	10	736,120
丹波篠山	6	0.907	776,783	3	0.877	1,032,900	9	862,156
丹波	21	0.930	791,790	16	0.834	849,613	37	816,795
朝来	14	0.979	896,107	7	0.802	920,700	21	904,305
播磨	19	0.951	797,905	15	0.858	791,780	34	795,203
美方郡	85	0.964	817,429	52	0.856	1,025,750	137	896,500
豊岡	19	0.961	805,084	18	0.868	893,811	37	848,249
養父	33	0.973	911,833	23	0.890	981,248	56	940,343
摂津・神戸	11	0.976	865,600	4	0.864	820,050	15	853,453
県北C	-	-	-	3	0.740	666,233	3	666,233
市場全体	216	0.960	830,454	143	0.856	934,662	359	871,963

12月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸若土井	20	0.985	903,925	13	0.876	1,063,869	33	966,933
2	芳悠土井	36	1.010	857,419	30	0.886	1,082,620	66	959,783
3	宮菊城	6	0.996	905,667	5	0.933	842,820	11	877,100
	総計	216	0.960	830,454	143	0.856	934,662	359	871,963
4	丸池土井	28	0.933	852,264	15	0.851	882,933	43	862,963
5	芳山土井	14	0.973	794,593	12	0.852	940,133	26	861,765
6	照忠土井	36	0.961	802,083	23	0.826	917,161	59	846,944
7	照和土井	27	0.939	794,322	11	0.850	890,400	38	822,134
8	丸春土井	13	0.927	783,623	7	0.855	811,643	20	793,430

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸若土井	B	A++	A++	A	A++	A++
2	芳悠土井	A	B	B	B	B	A++
3	宮菊城	A → A+	A+ → A++	A++	B	A+	A
4	丸池土井	C → D	A++	C	A	A+	A++
5	芳山土井	A+	A++	A++	C	A+	A+
6	照忠土井	B	A++	A	A+	A+++	A+ → A
7	照和土井	A+	A++ → A+	C	B	A	A+
8	丸春土井	C	C	B	B	B	A+

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和02年8月現在)

初妊牛の分娩前栄養補給をしっかりと行おう

～ 育成牛の管理 ④ ～

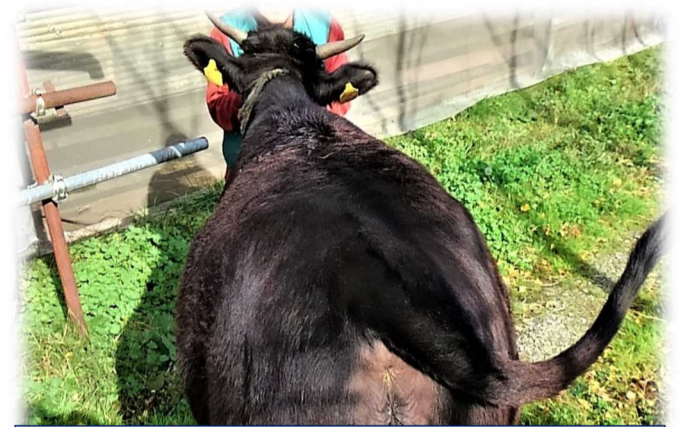
今年度は育成牛の管理について紹介しています。前号に続いて、初妊牛の飼養管理について考えて行きましょう。

1 腹づくりのワンポイント もっと食べさせる方法は

腹づくりがしっかりできることが育成牛の管理では重要です。正面や後から牛を見てルーメンが大きく発達して、肋張りが良く「俵型」のように丸ければOKです。肋張りが良くない牛は乾物摂取量が不足していたと考えて良いでしょう。

粗飼料を与えてもあまり食べない場合は、長い牧草や飼料用稲WC Sなどを細断してから与えると効果があります。アルファルファヘイなど強く圧縮されたまるで電話帳のようなカチカチの乾草は牛も食べ辛いものです。十分にほぐして与えると食べやすい上、床に引き込んで敷料にしてしまうことも減らせます。

3産目まではまだ発育中！！ ひと手間加え良い育成牛を育てましょう。



乾草をしっかり食べさせて肋張りの良い育成牛を育てましょう (写真 18ヶ月齢)

2 初産をむかえる前に必要な栄養を補給しよう

粗飼料をたっぷり食べて育った初妊牛はルーメンがしっかりと発達して「俵型」のような体つきになっていることでしょう。

それでも、胎子の発育が旺盛になる分娩の2ヶ月前頃には、急増する胎子分の栄養まで粗飼料主体の飼料で補給するのは難しくなります。そのため、この頃から配合飼料の給与量を増やして栄養補給します。

初妊牛は分娩すると子牛に母乳を与えるための栄養と、自身も発育するための栄養が必要なことに加えて、2産目にむけて発情回帰するための栄養が必要になります。分娩後の初産牛は3産以上の母牛より多くの栄養が必要です。

初産をむかえる分娩前の時期は、分娩後に生涯で最大量の栄養摂取を迎える助産段階なので、配合飼料の給与量を増加させつつ、粗飼料も合わせて食べこませる必要があります。具体的には胎子の発育に必要な栄養と、分娩後にしっかりと配合飼料を喰い込める準備をするため、**初妊牛には分娩のおよそ2ヶ月前から約3kgの配合飼料を与えます。**配合飼料の給与増にとともに粗飼料の喰い込みが減るような場合は、アルファルファヘイなど採食性や嗜好性の高い粗飼料を与えましょう (表1、表2)。

表1 牧草(ヘイ)のみの給与例

飼料名	分娩2ヶ月前
スーダンヘイ	4.0
バミューダヘイ	2.5
アルファルファヘイ	0.5
和牛用配合飼料	3.0

給与量単位: kg/頭・日
分娩2ヶ月前(通常)

※1 ヘイとは
出穂した穂まで全てを乾燥調製した粗飼料

※2 ストローとは
種子を収穫した後の作物を乾燥調製した粗飼料

子実を収穫したか していないかで 栄養価が大きく異なります。

表2 一部ストローを用いた給与例

飼料名	分娩2ヶ月前
イタリアグ ラストロ	2.5
スーダンヘイ	3.0
アルファルファヘイ	1.5
和牛用配合飼料	3.0

給与量単位: kg/頭・日
分娩2か月前(食いが減ったとき)

消化性が良好
採食性が高い



3 寒さ対策に必要な栄養を補給しましょう

これから寒さはより厳しさを増します。初妊牛は寒さの影響を受けやすいため、寒冷時の栄養管理はより重要です。

黒毛和種の成雌牛では、気温が5℃以下になると寒冷ストレスを受けると言われています。寒冷ストレスを受けると、牛は体温を維持させるため代謝量を増加させるので、エネルギーの消費量が30～40%増加します。

冬季分娩牛は、夏季分娩牛と比べて、分娩後の繁殖成績が低下する傾向があります。その要因のひとつとして、分娩前に与える飼料の量(エネルギー)が不足している可能性があります。

このため、**寒冷時には、配合飼料の給与量を通常時に比べて約0.5kg(2割程度)増やす**他、消化性の高いスーダンヘイや採食性の高いアルファルファヘイなどの粗飼料の給与量を増やしてエネルギー補給して寒さを乗り越えましょう (表3、表4)。

表3 乾牧草(グラス)のみの給与例

飼料名	分娩2ヶ月前
スーダンヘイ	4.0
イタリアンヘイ	2.5
アルファルファヘイ	0.5
和牛用配合飼料	3.5

給与量単位: kg/頭・日



表4 麦稈(ストロー)・稲わらのみの給与例

飼料名	分娩2ヶ月前
イタリアグ ラストロ	2.5
スーダンヘイ	3.0
アルファルファヘイ	1.5
和牛用配合飼料	3.5

給与量単位: kg/頭・日

消化性が良好
採食性が高い

まとめ

- ・初産を迎える2ヶ月前から、初妊牛の体と胎子の発育に必要な栄養をしっかりと補給しましょう
- ・冬は増加する代謝量に見合ったエネルギーを補給し、寒さを乗り越えましょう
- ・しっかりした腹づくりのため、与え方を一工夫して粗飼料の喰い込みを良くしましょう